

令和元年度9月教育委員会 会議録

開催日時	令和元年9月24日(火) 13:30~15:00	
開催場所	早島町町民総合会館 研修室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、綾野克紀委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、貝畑和明学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果等の考察と今後の取り組みについて</p> <p>(2) 早島町立早島幼稚園給食実施条例と早島幼稚園給食実施規則について</p> <p>(3) いかしの舎駐車場について</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校評価アンケート結果について ・ESDの視点とキャリア教育の視点を関連付けた総合的な学習の時間について <p>3 連絡</p>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：先週から9月議会が開会した。小学校では、早島ふるさとソングを小学6年生が制作することになり、早島の魅力満載の歌になる予定である。6年生のチームワークを楽しみにしている。中学校では、早輝祭が終わり、9月25日(水)には総合的な学習の時間での探究活動の研究授業を行うこととしており、文科省の教科調査官や地元企業の方にも来ていただき、2学年の商品開発の授業参観と研究協議を行う予定である。時間があればぜひお越しいただきたい。</p>

2 議事・報告案件

(1) 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果等の考察と今後の取り組みについて

事務局 : (全国調査結果を説明する。)

栗坂委員 : 中学校に入って、体力が低下する傾向にあるのはなぜか。

教育長 : 部活動が始まり、運動部と文化部に分かれたときに、運動の差が出やすくなる。小学校では、業間休みなどを活用して全員が運動する機会を設けている。中学校では、運動部活動をする生徒としない生徒との二極化が見られるが、家庭で運動する機会が全体的に減少しているのではないかと考えられる。

大森委員 : 統計的に考えて、一喜一憂する必要はないのではないか。

教育長 : 今年度の体育の授業改善に生かしていきたいし、業間休み等に役立てていきたい。全国体力調査については、これでよいか。

委員 : 了承した。

(2) 早島町立早島幼稚園給食実施条例と早島幼稚園給食実施規則について

事務局 : (実施条例と実施規則を説明する。)

教育長 : 幼稚園給食条例についての質問があればお願いしたい。

綾野委員 : 内容は良いと思うが、表記の仕方が気になる。第5条では、別に定める額とあるが、明記したほうがよいのではないか。条例と規則が逆転しているのではないか。

教育長 : 表記については、検討が必要である。議会では、5年の契約が長すぎるという意見があり、何かあればすぐに解約できるという条項のもとでご理解をいただいている。

竹井委員 : 宗教上の理由で給食を食べさせることができない家庭もあるのではないか。

教育長 : 本町では、現在その申し出はないが、宗教上の理由やアレルギーで食べられないご家庭には弁当を持参していただくことになっている。他市町も同じである。幼稚園の給食については、これでよいか。

委員 : 了承した。

(3) いかしの舎駐車場について

黒木課長 : 町内を検討したところ、ドリームハウスを取り壊し、跡地を駐車場としたい。

教育長 : 近隣に駐車場はなく、財政的な問題もあり苦渋の決断となっている。国への返還金は発生しないとの返答をいただいた。利用団体が5団体あるので、ご理解をいただき、町内の別の施設を利用していただくことを今後進めていく。

大森委員 : 現駐車場は、金銭面で折り合いがつかなかったのか。

教育長 : 町としては土地を買い取りたかったが、売却は現時点では考えていないとの返

答であった。賃貸の契約で話を進めていたが、金銭面で折り合いがつかなかったのではなく、条件面で町としては折り合えなかった。

大森委員：ドリームハウスを解体するということであれば、税金の無駄遣いのように感じる。土地と建物で8千万という費用が費やされているが、建物費用4千万を捨てているようなものではないか。

教育長：ドリームハウスは、健康福祉課の管轄だが、教育委員会も施設管理の面で一体となって案を出した。

綾野委員：毎年37万円程度の赤字が出ているとのことだが、37万円のサービスを町民に与えていると考えると、その金額だけでつぶすのはどうかと思うが。

教育長：いかしの舎は指定管理なので、駐車場がなければ、どこも受け手がなくなることも考えられる。ゆるびの舎から歩いていただくことも考えたが、高齢者にとっては難しいことであり、だれもが便利に利活用していただくためには、ドリームを駐車場に変更することが、現段階では一番よい判断だと考えている。ご理解をいただきたい。

大森委員：現在の駐車場代はいくらなのか。

教育長：1台4000円×17台となっている。

大森委員：可能な限り、賃貸ができる状況を引き伸ばしてはどうか。住民とすると駐車場がないからドリームハウスを解体するというのは無責任に感じるが。

教育長：20年前は、老人福祉施設として活用する予定で建てたが、採算が合わなくなり、現在のようにコミュニティハウスのような使い方になっていった現状がある。国からも目的を終えたと判断され、返還金を求めないと回答をいただいている。ドリームハウスは役割を終えたと考えている。

竹井委員：ドリームハウスの運営の状況と駐車場の確保の問題は分けて考えるべきでは。

教育長：駐車場の交渉については、1年以上にわたり行ってきたが、担当者も疲弊をするような状況であり、苦渋の決断をご理解いただきたい。

大森委員：町が交渉するのではなく、業者が仲介するほうが良いのでは。

教育長：いかしの舎が業者を通じて交渉しているが、交渉業者もなかなか難しいと言っている。相手の都合に合わせて、何度も受け入れたりお願いをしてきたが、交渉はうまくいかなかった。

綾野委員：自分の家と考えたら、20年でローンを払い終わったからつぶすというのはまずありえない。他の交渉材料はないのか。

竹井委員：一時的に借りるということは、町の施策としては不安定。やはりどこか場所を確保するということが大切である。ドリームハウスの失敗は明らかなので、駐車場にするということも一案と考える。

大森委員：自分たちの金ではなく、税金なので人事と考えているのではないか。

教育長：未来の早島のためにどうあるべきかを一番に考え、何事も取り組んでいる。以

前から、本町は土地を借りていることが多く、世代が交代すると交渉が難しくなり、ご理解をいただくのが困難となる場合もある。こちらとしても申し訳なく思うが、ご理解をいただき、今後こういうことにならないよう考えていきたい。駐車場についてはよろしいか。

委員 : 了承した。

(4) その他

事務局 : (第1回学校評価アンケート結果について説明する。)

教育長 : 学校評価アンケートは、学校を映す鏡であり、児童生徒、保護者の声にしっかりと耳を傾け、改善に取り組みたい。評価項目では、「授業が分かりやすく楽しい」「悩み事や困ったことを相談できる先生がいる」など、評価ポイントを上げていきたい項目がいくつかある。幼小中の学校評価アンケート結果から気になることはないか。

綾野委員 : 「いじめはどんなことがあってもいけないと思う」という評価項目について、保護者の考えはどうか。親も様々な考えの方がいるのでは。

栗坂委員 : 気になる項目として、小学校の「わたしは周りの友達から認められていると思う」の自己肯定感が低いように思う。中学校の方が自己肯定感が高く、逆転しているように感じた。

教育長 : 学年ごとに並べてみるとまた違う結果が見えてくるであろう。次回は学年ごとに見ていきたい。

綾野委員 : E評価が多い項目だけを取り上げてみると課題が顕著になるのではないか。

大森委員 : 保護者評価も、父親が回答するか母親が回答するかによっても結果は変わってくるのではないか。

教育長 : いろいろとご意見をいただいた。分析に活かしていきたい。
学校評価アンケートについては、これでよいか。

委員 : 了承した。

事務局 : (E S D視点とキャリア教育とを関連付けたカリキュラムについて説明する。)

教育長 : 9月25日(水) 11:55～早島中学校において研究発表会が行われる。
時間があればぜひお越しいただきたい。

3 連絡

- ・10月教育委員会 10月25日(金) 14時～16時 会場: 早島小学校(応接室)
- ・令和元年度岡山市町村教育委員会委員研修会 11月7日(木) 14時～16時
ピューアリティまきび
分担: 大森委員(学力向上)、竹井委員(スマホ・ネット)、教育長(働き方改革)